

## スーパーグローバルコース化学系の修了要件

2016. 8. 22

工学研究科博士課程前後期連携教育プログラム、融合工学コース物質機能・変換科学分野のスーパーグローバルコース(平成 27 年度履修開始学生においては、プレスーパーグローバルコース) 所属大学院生が以下の1から4の要件を満たしたとき、ジャパンゲートウェイ京都大学トップグローバルプログラム、スーパーグローバルコース化学系の修了を認定する。

なお、工学研究科博士課程前後期連携教育プログラム、融合工学コース、物質機能・変換科学分野の修了認定要件は、1および4である。

1. 工学研究科博士課程前後期連携教育プログラムの融合工学コース、物質機能・変換科学工学分野のスーパーグローバルコース(平成 27 年度履修開始学生に対しては、プレスーパーグローバルコース) に所属し、別途定める規定の単位を取得すること。
2. JGP セミナーと JGP インターンシップを、併せて 1.5 単位以上取得すること。
3. 博士論文(含草稿)に対して海外教授の指導を受けること、もしくは、海外研究機関で 1 ヶ月以上のインターンシップ研修を行うこと。
4. 物質機能・変換科学分野において必要な研究指導を受け、工学研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格すること。

## 修了に必要な単位

### (1)5 年型(修士課程 1 回生からの参加) 学生

修士課程、および博士後期課程在学中に、本コース科目標準配当表で認められた科目から、各科目区分およびその合計において下表「5 年型」に示された単位を取得すること。なお、修士課程に取得した単位でスーパーグローバルコース博士後期課程に履修指定されている科目は、工学研究科の認める範囲において、申請により博士後期課程で履修した単位として認める場合がある。また、連携プログラム博士後期課程に進学するためには、修士課程を修了し、各専攻で実施される博士後期課程入試に合格すること。

### (2)4年型(修士課程2回生からの参加) 学生

修士課程において、本コース参加以前に所属した専攻、あるいは分野の修了基準を満たす単位を取得すること。博士後期課程においては、本コース科目標準配当表で認められた科目から、各科目区分およびその合計において下表「5 年型・博士後期課程」に示された単位を取得すること。なお、修士課程に取得した単位でスーパーグローバルコース博士後期課程に履修指定されている科目は、工学研究科の定める範囲において、申請により博士後期課程で履修した単位として認める場合がある。また、連携プログラム博士後期課程に進学するためには、修士課程を修了し、各専攻で実施される博士後期課程入試に合格すること。

### (3)3年型(博士後期課程1回生からの参加) 学生

本コース科目標準配当表で認められた科目から、各科目区分およびその合計において下表「3 年型」に示された単位を取得すること。

科目区分	単位数		
	5 年型		3 年型
	修士課程	博士後期課程	博士後期課程
コア科目	4 単位以上	2 単位以上	2 単位以上
Major 科目	8 単位以上	2 単位以上	2 単位以上
Minor 科目	4 単位以上	2 単位以上	2 単位以上
ORT 科目	8 単位以上	2 単位以上	2 単位以上
その他の科目	必要に応じて指導教員の承認を得て履修		
合計	30 単位以上	10 単位以上	10 単位以上

## 【補足】

平成 27 年度にプレスーパーグローバルコース(3 年型)2 年次に編入した学生については、本コース参加以前に所属した専攻、あるいは分野の修了基準を適用する。ただし、いずれの学生も本コースの教育と研究の理念や目的に沿って設定した授業科目を履修することが望ましい。